2010年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	農野　寛治				
配当	教福4			コード	80350
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	自身の学びの集大成を形づくる				
目的と概要	各種の専門科目を履修し、さまざまな社会事象を「教育」や「福祉」から見て考える力（価値、理念、思考枠）と対応技術の基礎（知識、方法論）が習得されつつあると思います。これらに基づいて、自身で設定した「設問」を解き明かしながら、自己が学んだことの集大成を証しとして残すこと、それが卒業研究論文として結実すると考えています。この思考と作業のプロセスを学ぶことを目的とします。				
成績評価法	課題への取り組みへの意欲と姿勢、問題設定のあり方、論文の構成力、研究の方法、分析力、表現力＋αとしてのオリジナリティ…等によって評価します。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	以下の講義計画の中に、アドバイス及び忠告を記しています。				

講義計画

1) オリエンテーション
2) 研究テーマの設定（1）
3) 研究テーマの設定（2）
4) 研究テーマの設定（3）
5) 研究過程の立案（1）
6) 研究過程の立案（2）
7) 基本文献の検索と資料収集（1）
8) 基本文献の検索と資料収集（2）
9) 基本文献の検索と資料収集（3）
10)論文の基本構想を立てる（1）
11)論文の基本構想を立てる（2）
12)卒業研究に向けて・個人発表（1）
13)卒業研究に向けて・個人発表（2）
14)卒業研究に向けて・個人発表（3）
15)卒業研究に向けて・個人発表（4）
16)全体指導・「起」
17)個別指導
18)個別指導
19)個別指導
20)全体指導・「承・転」
21)個別指導
22)個別指導
23)個別指導
24)個別指導
25)全体指導・「結」
26)個別指導
27)個別指導
28)個別指導
29)個別指導
30)全体指導・「発表会」

◿ゼミ生へのアドバイス及び忠告

・フィールド調査等を伴うものは、早期に実施できるように計画を立てること。

・まず、問題意識を明確に、そしてテーマは狭く具体的に。

・集めた資料から、論じる対象をきちんと抽出し論述すること。

・書きながら考える。繰り返し書き直す。書き足す。この作業を積み上げる。

・卒業論文は長距離走。時間をかけて持続的な取り組みをする。

・なるべく早く取りかかる。まだ大丈夫は禁物。

・安易にインターネットに頼らない。極力、原典にあたる。

・個別指導は、ピアノのレッスンと同じ。何もしてこなければ、ノーリターン。